

2年連続30度目

# 東邦



平成最初の王者 最後も締める!!  
センバツに向け、息気込む東邦ナイン

## 3・23開幕 出場32校決まる

第91回選抜高校野球大会 (3月23日開幕、甲子園) の出場32校を決める選考委員会は25日、大阪市北区の毎日新聞大阪本社オーバルホールで開かれ、昨秋の東海大会で優勝した東邦(愛知)は2年連続30度目、同準優勝の津田学園(三重)は17年ぶり3度目の出場を果たした。組み合わせ抽選は3月15日に行われる。

石川、熊田の中軸で昨春の雪辱を制した東邦が、平成最後の公式戦17試合をチームで締め切る。森田泰弘監督(59)は「平打率・388、14本塁打、69盗塁を記録し計161得点(1試合平均得点9.4)をたたき出した。勝てずかと問われれば、最後までうちの優勝を飾りたい。力に覚えが現れるように、コンディションを整えたい」と自信を語った。昨秋に残留した成績と戦力を辛口に分析した。

今秋ドラフト上位候補に挙がり主戦、主将を務める高校通算39本塁打の石川昂弥(2年)が3番を打つ。それゆえに、最重要ポイントとされるのが石川の後ろを打つ4番だ。昨春に石川とともに甲子園に出場した熊田任國に代わり、昨秋は洋内野手の石川に代わり、巧みなバットコントロールが武器の好打者は、花巻東に3人で初戦敗退した昨春の雪辱を期す。

「5年はエラーを引きずって、そのまま行ってしまっ」を期す。そのま聖地を後にした。選抜4度の優勝は中京大中京と並ぶ大会最多で通算51勝は中京大の55勝に次ぐ2位の50勝に上積みして時失策がそのまま決勝優勝すれば、ともに単点となった。打撃でも1打席目で二塁内野を安打を放ったが以降は打席を空回し、4打数無安打だった石川とも力を発揮できないまま、自然体で力を発揮すれば、必ずと結果は付いてくるはずだ。

17年ぶり3度目



17年ぶり3度目の出場を喜ぶ津田学園ナイン

### ◆津田学園の昨秋公式戦成績◆

大会・回戦	スコア	相手
地区予選	7-0	工北
	2-0	北園
	8-0	白鳳
三重1回戦	13-5	白鳳
2回戦	4-0	松阪
準々決勝	5-1	伊勢
準決勝	4-0	伊勢
東海1回戦	10-7	大垣
準々決勝	7-2	御殿場
準決勝	13-5	中京大
決勝	2-10	東邦

### ◆東邦の昨秋公式戦成績◆

大会・回戦	スコア	相手
地区1次予選	18-2	郷進
	14-0	日高
	11-0	古宮
	21-0	高名
	8-0	一宮
	6-0	9-0
	9-0	7-0
	8-0	8-0
	14-3	14-3
	8-0	8-0
	7-0	7-0
	10-9	10-9
	10-2	10-2
	3-7	3-7

## 聖地で東邦にリベンジ誓う!!

佐川監督「はつらつとしたプレーみせたい」  
吉報が舞い込み、笑顔を浮かべたのも一瞬。津田学園・佐川竜朗監督(40)はすぐに気持ちを切り替え、来る春を見据えた。「東海地区の代表としての選出で、背負うものはより大きくなる。高校野球らしい、はつらつとしたプレーを見せたいと思います」  
三重の3位校で挑んだ昨秋の東海大会では147キロ右腕・前佑斗(2年)の好投と、初戦から3戦連続した4番・前川夏輝内野手(2年)を中心とした強力打線がかみ合い準優勝。東邦との決勝で大敗し一抹の不安があったが、杞憂(きゆう)に終わった。「前回(17年夏)は1勝に終わったので最低2勝。それをクリアできれば最終日まで野球をしたい」  
春夏合わせ過去3度の甲子園で1大会2勝はない。主将の石川史門外野手(2年)は「決勝でもう一度、東邦と戦いたい」と聖地でのリベンジを誓った。

うどん屋のだしをご家庭で  
テイステイ  
TEL: 072-995-1515



履正社医療スポーツ専門学校  
履正社スポーツ専門学校 北大阪校

0120-14-1356